

## 学校経営・運営ビジョン



学校法人  
東稜学園

福島東稜高等学校スクールポリシー

本校の建学の精神である「真心をもって人に接し人の立場を考えて行動できる明かるく役立つ人間」の育成を最終的な教育目標と掲げ、その目標実現のための教育実践として、「ホスピタリティ教育」「グローバル教育」「シティズンシップ教育」という3つのスクールアイデンティティ（S・I）を教育活動の柱として行っていくものとする。そのうえで、生徒たちに身に付けてもらいたい学力や能力を3つのポリシーとして定め、これらをもとに教育活動を行っていく。

### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針・求める生徒像）

グローバル化が進み、多様な個性や能力を持った人々と共に生きる共生社会において、他者を認め思いやる心が求められます。また多様に変化していく21世紀を自らの力で生き抜くために、好奇心と探究心を持って学び続けることが大切です。そのため、次のような生徒の入学を希望しています。

- 1 高校での学習、学校行事や部活動などの活動に意欲的・主体的に取り組み、自己成長を図ろうとする生徒。
- 2 自分の将来に対して高い目標を持ち、その目標に向かってあきらめずに計画的に物事を一つずつ成し遂げようとする生徒。
- 3 他者に対して思いやりの心を持ち、共に助け合いながら協働して課題の解決にあたることのできる生徒。
- 4 世界や世の中の出来事に興味・関心を持ち、広い視野を持って行動し地球市民たる社会の一員として地域社会の貢献に寄与することのできる生徒。
- 5 福島東稜高生として自覚を持って行動し、何事にも挑戦し仲間と共に困難を乗り越えようとする生徒。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針・教育活動の指針）

「知識基盤社会」のもと、義務教育段階の基礎学力の定着を図り、主体的・能動的な学習活動のもと、あらゆる課題に対して探究心を持って自ら取り組み解決できる能力を養います。さらに、体験的・実践的な授業を取り入れたり、社会や地域と連携・協働したりして実社会に役立つスキルや自己表現力の育成及び向上のための教育課程編成を目指します。

- 1 各教科・科目において、生徒の学ぶ意欲を高め、基礎学力の定着を図るための取り組みを行う。
- 2 各教科において、論理的思考力及び言語力向上のための取り組みを行い、自己表現力やコミュニケーション能力の向上を目指す。
- 3 「総合的な探究の時間」では、高大・高専及び地域連携等を行いながら、自己理解、進路活動、地域問題などの諸課題に対し、課題研究を行うなど教科横断的なカリキュラムを編成する。
- 4 各種検定・資格取得を奨励し、授業や課外授業を通して検定試験に向けた取り組みを行っていく。
- 5 専門学科においては、求められる専門知識と技術を確実に身に付けられるような段階的で効果的な授業編成を行う。

### グラデュエーション・ポリシー（卒業認定方針・卒業時修得能力）

高校3年間に於いて、幅広い知識と教養、学びに向かう態度やそのための学習スキルを身につけて、生涯学び続けられる能力を備え、他者と協働し人を思いやる豊かな人間性を持って社会や地域に貢献できるリーダーシップと協働者として支えるフォローシップを兼ね備えた人物を送り出します。

- 1 基礎的基本的な学力を身に付け、高校卒業要件を満たす学力を有する。
- 2 各種検定に積極的に取り組み、検定・資格取得を通してより実践的な学習スキルを身に付ける。
- 3 専門学科の生徒は、その専門教科や科目における認定水準の学力及び技術を身に付ける。
- 4 校外活動やボランティア活動、各種コンクール等に積極的に参加し認定を受ける。
- 5 幅広い教養や語彙力を備え、自分の意見を述べることのできる自己表現力、他者との関係を築くコミュニケーション能力を身に付け、主権者としてグローバル社会を生き抜く力を修得する。